



新課程初の共通テストへ！

共通テストまで残り37日。今年度の共通テストは、**新課程初の共通テスト**となります。昨年度と比較すると、教科として「情報」が加えられ、国語と数学ⅡBCでは試験時間が10分増加しました。問題文の量も増加しており、教科の知識だけでなく、思考力、判断力、表現力を重視した試験となっています。しかし、学問の本質は変わらず、日頃から授業や家庭学習の中で、主体的に学問に向き合っているかが問われる試験です。

「現役生は、東校生は、最後まで伸びる！」を信じ、自分の可能性に挑戦してください。

冬季休業の学習については、質も量も大切ですが、**計画的な時間の使い方**が問われます。不安な気持ちを抱えているのは、受験生ならば皆同じです。**自分がこの位置にいることを称え、ハードルを越えてください。**そのために、必要なことをまとめました。

1 計画を再確認し、戦略的に学習を進める

共通テストは、国公立大学においては、一次試験の意味合いで、多くの大学が、一次+二次の総合点で合否を決定します。よって、**得意教科よりも、不得意教科の方が伸び代が大きい**と言えます。また、英数国に比べ、**理社は速効性がある**部分があります。総合点から考えて力を入れる箇所を考えるという戦略が大切です。

2 時間配分を意識する

限られた時間の中で、合格点に達するような時間の使い方を意識しましょう。

3 体力・気力の保持に努める

何と言っても、**受験は体力がものを言います**。その中には、**モチベーションといった気力も含まれます**。万が一、体調を崩した場合は、思い切って体を休めることです。とにかく、共通テスト当日に万全であるよう努めて下さい。

4 生活リズムについて試験本番を意識する

共通テストの1時間目の開始時間は9時30分。それを意識した生活リズムも必要です。

<共通テスト直前・直後の日程>

1/6(月)・7(火) 共通テストプレテスト 17(金) 共通テスト激励会
18(土) 共通テスト 1日目(地歴公民・国語・英語) 19(日) 共通テスト 2日目(理科・数学・情報)
20(月) 自己採点

<令和7年度国公立大入試の日程>

12月 冬季休業中 三者面談……ここで出願先候補を決定し、各自で「願書の取り寄せ」・「宿泊手配」
1/18(土)・19(日) 共通テスト → 20(月) 自己採点 ……採点結果を分析に出す
24~25(日) 出願検討会議・面談 → 一般選抜の「出願先(前期・後期(中期)日程)」を決定
1/27(月)~2/5(水) 一般選抜(「二次出願」)出願期間 *全日程を同時に出願。出願後の変更不可
2/25(火)~ 「前期日程」試験
→ 3/6(木)~10(月) 前期日程 合格発表 *前期日程合格者入学手続き(15(土)まで)
3/8(土)~ 「中期日程」試験 12(水)~ 「後期日程」試験
→ 20(木)~24(月) 「後期・中期日程」合格発表 *後期・中期日程合格者 入学手続き(27(木)まで)
*受験大学が定員に満たなかった場合、3/28(金)以降に「追加合格」の連絡がある可能性がある



このひと月が一生を決める！

東進ハイスクールの講師・林修先生が、以前テレビ番組で話されていた「入試1カ月前に受験生にする話」を紹介します。

別に、君らががんばろうが、がんばらまいがオレには関係ない。ただ、これだけは言えるってことがある。

このひと月ががんばれるかががんばれないかが、一生を決めるよ。

ひと月ががんばった結果、受かる人、落ちる人。ひと月ががんばらなかったけど、受かる人、落ちる人。この4つに分かれると。

そうしたときにひと月ががんばれて受かった人、あるいは、がんばったけど落ちた人はいいんですよ。

オレはひと月はがんばれたと、だけど、そこまでの準備が足りなかったら落ちるからね。

受かったけど、なんか最後のひと月でオレはがんばれなかったな。まあまあ受かったけど、オレはひと月もがんばることができない人間なのかという思いで生きていかなきゃいけない。そうなるかどうかは君たちの自由だよ。

ひと月ががんばれるっていうことは実はすごいことで、ひと月ががんばれると、1年ががんばれるね。1年ががんばれる人は、10年ががんばれる。10年ががんばれるっていう人はだいたい一生ががんばれるんですよ。

受験勉強って、入試に受かった受かんないっていうレベルの話に見えるかもしれないけど、人間力が試される場なんですよ。これを10代のうちにやっておくことに意味があるんですよ。で、それは勉強じゃなくてもいい。野球、仕事でもいいんですよ。

やっぱり10代の時に「オレはひと月ががんばれるぞ」っていう自信を持って生きていくかどうか。もしそれが見つかるならいいけど、そうじゃないとするなら、受験勉強に参加するのは悪くはないんですよ。（一部抜粋）

残された時間は短く、あせりもあるかもしれません。もしかしたら、まだやり足りない教科や勉強があるかもしれません。

受験勉強に打ち込み、得たもの。それはすぐに目に見えるものではないかもしれません。

しかし、いつか大人になり、社会に出た時にその大きさに必ずや気づく時が来るはずですよ。

最後まであきらめず、体調管理には気をつけて、現状を楽しむ気持ちを少しは持ちながら、

残りの受験を乗り切りましょう。 参照：BRIGHT（<https://bright-magazine.com/lesson/8509/>）



1・2年生 進路に向けて行動しよう

冬休みは、1、2年生にとっても、進路目標達成へ向けて大事な時間です。その際の留意点についてまとめてみました。

1 進路に関する情報を収集する

大学の学部、学科について、知識を持っておく、大学入試のしくみを知ることが大切です。大学の学部、学科については、希望の職業から決めるのが普通ですが、職業が未定であれば、勉強したいことでも良いと思います。その際、一つの大学でなく、複数の大学を比較しておく、長所が明確となります。大学入試については、準備は早いほど良く、受験への知識が多いほど有利になります。

2 進路について保護者と話す

保護者に自分の考えを伝え、意見も聞いておくことも大切です。進路決定のためには、経済的な理由はお断りして通れません。

3 受験勉強に本腰を入れる

2学年は、よく「3年0学期」に突入していると言われ、これは、本格的な受験勉強を始める時期であることを示しています。日頃の課題や定期考査の学習だけでなく、大学受験に向けた計画的な学習を心がけましょう。

1学年は、高校の生活に慣れてきたと思いますが、学習時間にはまだまだ課題があります。日頃の課題は余裕を持って終え、それ以外の学習をやるという姿勢が大切です。

いずれにせよ、模試の結果を、現状として謙虚に受け入れて、具体的な行動を起こしましょう。

<今後の全国模試の予定>

模試を今後の勉強の計画に組み入れ、模試で勉強の成果を確認しておきましょう。

1学年	1/18 (土)	1月進研記述模試 (英数国)
2学年 ①	1/17 (金)・18 (土)	1月進研記述模試 (5教科)
②	2/14 (金)・15 (土)	2月進研大学入学共通テスト模試 (5教科)

